

2015 AUTOBACS SUPER GT Round 5 44th International SUZUKA 1000km

2015年8月29日(土)～8月30日(日)

決勝 レポート

163 Laps



場所:鈴鹿サーキット (三重県) 1周 5.807 km

天候:雨→曇り / コース:ウエット→ドライ / 気温:28℃ / 路温:37℃ / 観客動員数:34,000 人

今季初表彰台獲得

2015年 SUPER GT 第5戦の決勝が鈴鹿サーキット(三重県)で行われた。ウエットコンディションでのウォームアップ走行で、レインタイヤの選択に手ごたえを感じたチームは、表彰台の中央を目指し出来る限りの準備を施して決勝に臨んだ。

8月30日(日)

＜決勝 163LAPS / 12:30～＞

12時30分、決勝スタートが切られた。井口卓人は何とかポジションをキープしようと絶妙なスタートをするが、#88 ランボルギーニに抜かれ1周目は5位で戻ってくる。2周目以降、井口はポジションを守り周回を重ねる。18周目、#7 BMWをかわし4番手に付ける。29周目、1回目のピットインで井口から山内英輝に代わる。しばらくして山内の乗る車両の映像が映し出される。GT500車両に追突されて左後ろのデフューザーを破損した模様。しかし山内は必死の走りを



www.rdsport.net

見せ、53周目にはポジション1となる。路面が乾きだした58周目、セーフティーカーが入り、そのタイミングで62周目にピットインし、タイヤ交換、ドライバー交代と素早い修復作業で、ロスなくピットアウトしコース復帰に成功する。68周目にもセーフティーカーが入るが、井口は問題無い再スタートで3位をキープし、74周目には#55 CR-Zをパスして2位に上がる。96周目、3回目のピットイン。井口から山内に代わる。山内は素晴らしい走りで2位をキープし、122周目に4回目のピットインで井口に代わる。素早いピット作業でトップをキープしコースに戻る。しかしタイヤがまだ冷えている状態でのポジションキープは難しく、追い上げてきた#10 GT-R、#7 BMWを抑える事は出来ず3番手となる。その後、井口は前を行く2台の車両を追いつけるが、結果3位でチェッカーを受けた。なお、GT500クラスの優勝は#36 PETRONAS TOM'S RC Fが、GT300クラスは#10 GAINER TANAX GT-Rが制した。



■本島監督 コメント



ドライバーもチームスタッフも完璧な仕事をしてくれました。チーム力で勝ち取った表彰台だと思いますが、上位の車両には残念ながらまだ速さで負けています。BRZが持っているポテンシャルを最大限引き出すためには何が必要か、今一度じっくりデータを見て再度検討し、残り3戦の結果につなげたいと思います。最後まで応援して下さい。多くファンの方々には大変感謝しております。本当に有難うございました。

■井口 卓人 コメント



今回のレースは、練習走行から非常に良いフィーリングで走る事が出来ました。車とタイヤのマッチングも良く、予選・決勝に向けて手応えを感じました。予選では山内選手も僕もノーミスの良いアタックが出来たと思いますが、トップの車も速くポールポジションを獲得が出来ませんでした。決勝は天気が不安定で難しいレースになりましたが、予選同様にノーミスでベストなレースが出来たと思います。優勝出来なかった事は本当に悔しいですが、速いBRZをお見せする事が出来ましたし、次につながる結果だったと思います。応援ありがとうございました。



www.rdsport.net

■山内 英輝 コメント



走り始めからマシンバランスがよく、この進化にチーム、ダンロップ
タイヤさんに本当に感謝しています。予選も決勝も高いパフォーマンス
を発揮できたのですが、一時トップまで追いつけただけに3位
は悔しい部分もあります。しかし次戦の優勝への一歩と考え、更に
速くなれるように頑張りたいと思います！最後まで応援してくれた
SUBARU ファンの皆さん、ありがとうございました。また次戦も応援
よろしくお願いします。

決勝の詳細に関しては SUPER GTホームページ <http://supergt.net/pages> 、
またSUBARUモータースポーツニュース <http://www.subaru-msm.com/2015/sgt/> もご覧ください

2015年8月30日
SUBARU BRZ
アールアンドデースポーツ
<http://www.rdsport.net/>



www.rdsport.net